

スクエアダンス 会員を増やそう

支部組織委員長 有坂 勝彦

軽快な曲に乗って踊るスクエアダンスは老若男女を問わず魅力的なものであります。この楽しさを多くの方々に広め、共に踊るために各クラブは「ビギナー講習」を開催しています。今回、アンケートを実施し活動の状況をまとめました。

I. 「ビギナー講習」を行おう

1、募集の仕方を工夫しよう

①口コミで募集しよう

「私、スクエアダンスをやっているのよ！楽しいよ。やってみない」と知り合いに呼びかけてみてはいかがでしょう。知り合いがやっていたら何かと安心できるものです。初心者でも講習を受ければ踊れるようになること、踊りは世界共通なのでどこへ行っても踊れること、好きなコスチュームを着て踊ると若い気持ちになること、適度な運動なので健康に良いこと、好きな音楽に合わせて踊ること、など話してみてもいいですか。口コミで勧誘しているクラブがほとんどです。

②新聞広告を出そう

新聞には「広告欄」があります。有料・無料がありますが広く知らせるには有効な方法です。一度だけでなく諦めないで、年に2～3回掲載することが大切なことではないでしょうか。興味を持っている方が問い合わせしてくるかもしれません。問い合わせがなくても広く宣伝にはなっています。また、市の広報に「募集広告」を掲載してもらうことも有効です。

北海道新聞 夕刊[掲示板]札幌版の場合
掲載方法 はがきで、〒060-8711(住所不要)北海道新聞報道センター
「掲示板」係へ。ファックスは011-210-5614へ。掲載は無料。
希望項目「仲間にどうぞ」、住所、氏名、電話番号を明記してください。

③チラシを作ろう

例会会場や区民センターに「ビギナー講習」のチラシをおくことも考えてみてはいかがですか。どのくらい効果があるかわかりませんが、スクエアダンスの知名

度は上がります。チラシを掲示板に掲載してもらうのもいいと思います。まったくの初心者でも踊れることを強調するのがコツです。

また、素敵なチラシを作り、知り合いに渡して勧誘することもできます。特に新しい会員が知り合いに渡すのも効果があります。

2、「公開例会」を計画しよう

最初から募集と言うのではなく「公開例会」という形で知り合いに声をかけ、例会の様子を見てもらうのはいかがでしょうか。実際に見学することで「楽しく踊っている」様子を見てもらえるので、興味のある方には効果的です。

3、「ホームページ」を作成しよう

最近インターネットを見る人が増えてきています。チラシを見た人がSquare Danceのサイトを見て、問い合わせにくることも考えられます。現在どのプロバイダーも無料のサイトを作成できるようになっています。作成技術を持っている人がいればお願いしてホームページを作成してはいかがでしょうか。もちろん有料のものも在りますので検討してみる価値はあります。チラシや新聞広告では伝えられない情報をアップすることができます。

4、「無料スクエアダンス体験学習会」を開催しよう

「スクエアダンス体験学習会」に知り合いの方をお誘いしてはいかがでしょうか。口コミでお誘いし、一度スクエアダンスを体験してもらうことで興味を持っていただけるといいですね。これを機会に「ビギナー講習会」に参加してもらえるかもしれません。何人か一緒だと気楽な気持ちで参加できるでしょう。

II. 新会員(ビギナー)へのケア

1、極力、新会員に話しかけよう

新会員は、コールもなかなか覚えきれない、メンバーの名前もよく分からないなど不安でいっぱいにはずです。そんな時「どうですか調子は」「コールは覚えられていますか」等、声をかけられると少し安心してもらえるのではないのでしょうか。何回か話しかけられると、「こんにちは」「こんばんは」と挨拶してくれるでしょう。そのうち、「スクエアダンスをやるきっかけは?」「他に何か趣味は?」「お住まいは?」と会話が膨らんでくるでしょう。

2、スクエアダンスについての疑問や分からないことを優しく教えてあげよう

ビギナーはスクエアダンスについて聞いてみたいことが沢山あることが多いものです。たとえば、「Call」のこと。講習で習っていても実際に踊るとなると頭が真っ白になり、「今、何のコール?」と言うことが多々あります。こんな時それとなく教えて上げるのがコツでしょう。また、「ダンスシューズやコスチュームはどこで購入するのか」を聞かれたら教えてあげるといいでしょう。さらにビギナーが参加できるパーティーを知らせてあげることも必要です。

Ⅲ、会員継続への工夫

1、例会の運営を工夫しよう

①プログラムを作成しよう

例会は楽しいものでなければなりません。初心者も熟練者も満足いくように例会プログラムを作成し、会を進めていくことがいいと思います。その場その場でやっていくと不満も出がちです。

②特別例会を企画しよう

マンネリ化は何となくつまらなく感じてしまいます。2ヶ月に1度「コスチューム例会」を企画したり、「クリスマス例会」「新春踊りこみ例会」「ビギナー歓迎例会」など特別企画例会を計画していくことも考えられます。

③ミーティングの時間を設定しよう

例会には「ミーティングの時間」を設定し、「パーティー情報」や「次回の予定」を伝えたり、「間違いやすいコール」を説明したりして誰でもが発言できる雰囲気を作ることが大切でしょう。新会員も発

言できるように「…さん、何かありませんか」と声をかけることもあってよいと思います。

④仕事を分担しよう

例会の仕事を分担することも考えられます。「例会係」「パーティー情報係」「スナック係」「ミーティング司会」などの係を作り、みんなが参加意識を持つようにすることも大切です。

⑤他のクラブのコーラーをお招きしよう

初心者にとってコーラーが代わるとコールが聞き取れないことも多い。たまには他のクラブのコーラーをお呼びしてコールをかけてもらうこともあってよいでしょう。例会の雰囲気も一気に変わることでしょう。

2、新会員へ積極的に話しかけよう

新しく入った会員は、コールもまだまだ習得していません。その為、セットが壊れてしまうこともしばしばです。何となく気後れしてしまい、表情もさえなくなります。チップの合間には「上手になったね」「サーキュレイトは難しいけど頑張ってるね」「スクエアダンスは続けていくと踊れるようになるよ」とか声をかけてあげることが大事です。気持ちが楽になるからです。基本的な動作「挨拶の仕方、ステップの仕方、手の取り方、スイングの仕方など」は徐々に教えていくのがコツです。

また、初心者は講習を終えたといっても慣れていないコールは難しいでしょう。何人かで個人的に説明してあげると理解が深まります。

3、パーティー会費等を会で一部負担し、参加しやすいようにすることもあり得ます

S協会費、ジャンボリー会費、コンベンション会費など一部を負担し、参加しやすい状況を作っても会の状況によっては考えられます。

4、昼食時の交流を大切にしよう

踊りが終わって一緒にお弁当を広げる場合は、スクエアダンスを離れているいろいろな話ができる場があります。街で見かけたチョットいい話など紹介し場を盛り上げましょう。

(平成26年10月1日)